



学校だより

並四小ホームページ<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namiki4>

あいさつ運動「あいさつで 心豊かな 一日を」

8 月 号
令和2年7月31日

並木第四小学校
校長 清水 康男

夏休みを子どもとじっくり向き合う機会に

副校長 小林 秀樹

1年生が育てているアサガオがあつという間に大きくなり、紫や淡いピンクなど、色鮮やかな花を咲かせています。また、個別支援学級の児童が育てているミニトマトやピーマンなどの野菜も立派に実り、収穫の時期を迎えています。先日、収穫したばかりの野菜を職員室に届けにきてくれたことがありました。手にした野菜はまだ温かく、匂いもとてもよくて、自然の恵みをいっぱい受けて生長したことが伝わってきました。お世話を一生懸命がんばった子どもたちの笑顔が何より印象的でした。

8月3日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。安全で有意義に夏休みを過ごせますように、学校では、事前に生活、学習、安全等について指導をいたします。ご家庭でも、子どもたちが健康・安全に過ごせますよう、また規則正しい生活や学習の振り返りがしっかりと行えますよう、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。また、地域の皆様方におかれましては、これまでと変わらず、子どもたちを見守り、ご指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、インターネットやSNSの発達が進む一方でFACE TO FACEでの「人間関係の希薄さ」が課題となっているように感じます。このことは、以前から言われてきたことですが、なかなか改善が図れないのはなぜでしょう。

一つは、私たち大人の生き方そのものが影響していると考えます。「子どもは大人の鏡」という言葉がありますが、私たち身近な大人たちが自分から進んで挨拶をしたり、笑顔で相手と向き合ったりすることを改めて意識していくことが大切であると思います。

もう一つは、大人が子どものためと思って行ってきたことが「人間関係の希薄さ」を助長する結果となっていることがあると思います。例えばゲーム機やスマートフォンを与えてあげることがあります。もちろん、保護者といつでも連絡がとれたり、友達と直接会えない日でもつながることができたり、子どもにとってそのよさは十分にあります。しかし、ただ単に子どもたちに与えるだけで終わってしまうと、トラブルに巻き込まれてしまったり、家族とのふれあいの時間を少なくし、最も大切な『家族との絆』を弱めることになってしまったりしてしまいます。安心・安全な使い方について、ご家庭で改めて話し合ってみてはいかがでしょうか。他にも、当初大人が子どもにとってよいこととして行ったことが、決してそうっていない、場合によってはマイナスになっていることがあります。そして、そのことに多くの大人は気付いているのですが、自身の価値観を変えられなかったり、家族で話す時間がなかったりしてなかなか改善することができないのだと思います。

子どもたちは家の宝、まちの宝、学校の宝です。宝である子どもたちの健やかな成長は、大人たちの願いです。例年より短い夏休みとなりますが、今一度しっかりと子どもと向き合い、目の前にいる子どもにとって、本当に大切なことは何か、そのためにはどのようにしたらよいのか、じっくり考える機会となれば幸いです。

～お知らせ～

○運動会や宿泊体験学習、修学旅行等の学校行事について、実施の可否やあり方、時期等を含め検討中です。9月以降をめどに、改めて保護者の皆様にお知らせいたします。ご了承ください。

○本校では、8月3日(月)から8月16日(日)までの期間、学校閉庁日といたします。この期間は学校における業務は行いません。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、緊急の場合については、横浜市教育委員会南部学校教育事務所 8 4 3 - 6 4 0 8 へ 平日の8時30分から17時15分の間におかけください。